

【資料紹介】

## 初代松江市長・福岡世徳文書（十・完）

福岡世徳文書研究会

（竹永三男・大國由美子・内田 融・居石由樹子・  
小林奈緒子・沼本 龍・本井優太郎）

### 摘 要

福岡世徳（一八四八～一九二七年）は、初代松江市長として、市長在任期間（一八八九～一九一一年）を通して松江振興のために尽力し、その活動記録を「公務手帳」（全二冊が残存）に記録していた。今回翻刻する第一〇冊には、松江市長退任に至る経過や、退任後の弁護士活動の内容が記録されている。

キーワード：福岡世徳、初代松江市長、市長退任、弁護士

### 【解説】

元松江藩士で初代松江市長となった後、四期二年間（一八八九～一九一一年）にわたって松江市の発展のために尽力した福岡世徳（一八四八～一九二七年）は、市長とそれに続く衆議院議員在職中（二期、一九一二年～一四年）の詳細な記録を「公務手帳」（松江市北堀町・福岡家所蔵）に記載していた。全部で一二冊伝わるこの「公務手帳」の中、今回はその第一〇冊を翻刻する。

〔なお、福岡世徳の生涯と事績については、竹永三男『初代松江市長

福岡世徳その旅と松江振興策』（山陰研究ブックレット2、島根大学法文学部山陰研究センター、二〇一三年。後、今井出版から販売）と、これまで連載してきた「初代松江市長・福岡世徳文書」（一～九）を参照されたい。〕

今回翻刻する「公務手帳」第一〇冊の内容は、次ページの表に示したとおりである。これまでに翻刻した「公務手帳」では、各冊とも陳情・情報収集・招魂祭出席などの目的で行った数回の旅の記録が掲載されていたが、この第一〇冊では、旅の記録は一回だけである。また、この一回の東京への旅については、「公務手帳」では「在京」とだけ書かれており、その目的は記されておらず、福岡世徳文書中の「備忘録」

『山陰地域研究（伝統文化）』第六号、一九九〇年に翻刻・紹介で確認されるに止まる。

旅行期間	行先	旅行目的
一九〇一年三月一八日～三一日	東京	鉄道院機械工場設置陳情

これまで翻刻した九冊の「公務手帳」の記事の中心であった、県都松江市の振興計画（その中心は、鉄道延伸・馬潟港浚渫・陸軍兵営誘致）を実現するための「陳情」情報収集の旅の記録にかわって、本冊の記事の中心を占めているのは、市長退任関係記事である。一八八九年四月一日の市制施行後、松江市議会で岡崎運兵衛・長尾義勝とともに市長候補に選任され、五月二五日に天皇の裁可を得て初代松江市長となった福岡世徳は、その後四期二年間にわたって市長職を務めてきた。その間、日清戦争後まで続く人口減少など市勢の衰退を挽回するため、前述の振興計画を案出し、その実現のために、文字通り東奔西走の毎日を送ってきた（前掲『初代松江市長福岡世徳その旅と松江振興策』参照）。その計画は、一九〇八年の山陰線松江延伸、松江歩兵第六三連隊の開設・入営、馬潟港浚渫のための起債認可などとして実現し、地域の人口も回復・増加に転じた。こうした実績の積み上げの中で、退任をめぐる事情と福岡世徳自身の真意は不明であるが、一九一一年七月一三日、後任の市長として高橋義比の就任が裁可されたその日の午前九時に市役所に出勤し、事務の引継を行った上で吏員に別れを告げて市役所を去って行ったのである。

この松江市長退任関係記事を、本冊から摘記すれば次のとおりである。

- 五月 十一日（木）一 禄太郎へ書状ヲ發ス退任後ノ要件
- 六月 十九日（月）一 午前六時園山向坂小川ノ三氏ヲ春陽館ニ訪レ自分引退ノ斡旋ヲ囑ス
- 六月二十一日（水）一 午前森脇松江両氏ト面会市長重任セストノ事ニ決定
- 午後五時森脇松江再来市長再任ノ承諾ヲ求メラル
- 六月二十四日（土）一 午前八時向坂小川両氏ヲ訪ヒ此間ノ勞ヲ謝ス
- 一 錦織山陰日々ヲ呼ヒ市長候補ノ事実ヲ話シ置ク
- 六月 三十日（金）一 午前九時森脇市会議長ヲ訪フ
- 七月 一日（土）一 此日職務ニ付随スル総テ之職ヲ辞ス
- 七月 十一日（火）一 市役所ニ出テ諸器具ヲ引上ク
- 七月 十三日（木）一 午前九時ヨリ市役所ニ出勤事務引継ヲ為シ吏員ニ告別ス
- 十二月十七日（日）一 佐藤喜八郎氏來訪廿五名ヨリ金時計ヲ贈ラル

これらの記事によると、福岡世徳が市長退任の考えを記載したのは、五月一日の息子禄太郎宛の書簡が最初であるが、禄太郎には、これに先立って四月一二日にも「詳細ナル相談ノ書状ヲ發」しているのので、この頃から退任を考え始めたものと思われる。

その後、六月一九日の早朝、自由民権運動以来の盟友である園山（勇、衆議院議員<sup>1</sup>）、向坂（弘、元市議会議長、衆議院議員<sup>2</sup>）、小川（善淵、

元市議会議長代理。弁護士<sup>③</sup>を訪ねて市長引退に向けて斡旋を依頼したが、翌々日には森脇甚右衛門（市議会議長）・杵江彦三郎（市議会議長代理）が市長再任を求めるなど、福岡世徳の市長続投を求める動きが松江市議会の中枢にもあったことが分かる。しかし、福岡世徳の退任の決意は固く、六月末にかけて退任準備工作を進め、七月の退任に至った。後任の市長は、福岡世徳の市長在任中、助役として市政運営を支えた高橋義比<sup>④</sup>であった。

松江市長を退任した福岡世徳は、市長就任以前の職業である弁護士に復帰した。本冊から、弁護士復帰に至る記事を摘記すると左のとおりである。

七月二十九日（土） 一午前市役所ニ於テ弁護士法ニ依ル証明書ヲ受ク

七月三十一日（月） 一弁護士登録請求書ノ提出ヲ小川氏ニ托ス

八月 一日（火） 一弁護士服ヲ注文

八月 二日（水） 一午前安来町【姓略】音吉刑事ノ件ニ付来ル

八月 四日（金） 一松江地方裁判所へ弁護士願ヲ出ス

八月 六日（日） 一音吉音吉ヲ小川弁護士ニ紹介ス

八月 十日（木） 一午前高田茂へ弁護士服代拾五円六十六銭ヲ

送ル

八月二十一日（月） 一弁護士登録ノ通知ヲ受ク

八月二十二日（火） 一事務所ヲ定メタル旨検事正ニ郵便ヲ以テ届

出ツ

八月二十三日（水） 一午前弁護士諸氏ヲ訪フ

市長退任後、同月中に弁護士開業を手際よく進めているところは、

第一期の途中の一八九三年に市長を辞任し、弁護士に戻ろうとした時と同じである<sup>⑤</sup>。その一方、十月三日には、「一夜二入り孫児ヲ携へ賣豆紀神社へ参詣ス」という記事が見られる。一年の中の多くの日々を「陳情」と「情報収集」の旅に費やし、市長公務に精励していた福岡世徳の「公務手帳」に私生活に関する記事が書かれるのは極めて稀である。しかし、そのような福岡世徳にも、市長退任後、ようやく孫と神社参拝するような穏やかな日々がもつたのである。

その後の福岡世徳は、一九一二年から一四年まで立憲政友会所属の衆議院議員を一期務めた後、政界を引退した。

以上、本稿をもって、福岡世徳が松江市長として活動した期間の活動内容を詳細に記録した「公務手帳」一〇冊の翻刻を終える。「公務手帳」自体は、この後二冊が伝わるが、その翻刻・紹介は他日を期したい。

翻刻に際しては、研究会同人の大國由美子（島根大学法文学部歴史社会コース卒業生）が解説したものを、研究会同人が検討し、当面の確定版を作成した。また、解説の執筆に際しても、大國由美子による関係事項の調査を参考とした。

今回の「公務手帳」第一〇冊も、用紙の黄ばみと筆記具の関係もあり、判読不明文字が多くなっている。ご容赦をお願い申し上げます。（竹永三男）

〔凡例〕

一 漢字は原文どおりとした。

二 合体字はカタカナ書きとした。

- 三 原文にない句読点は付さない。
- 四 不明文字・判読不能文字は、字数に従い、□□、「」とした。また、福岡世徳が弁護を担当した依頼人の姓は「」で伏字とした。
- 五 抹消文字は二重抹消線で示し、訂正文字を原文に従い左右に記した。
- 六 文字サイズは同一とし、割注のみ小さくした。
- 七 この年に福岡世徳が使用した市販手帳（「新式懐中日記」）は、一ページ当たり三分の記載欄があり、各日には日・曜日・祝祭日・暦・行事が予め印刷されている。翻刻では、その印刷部分に傍線を付した。但し、月は各ページ上欄外に印刷されているが、各記事の日付が明確に分かるよう、各日ごとに記した。
- 八 表に掲げた出張を明示するため、翻刻者によって当該箇所に「」を付した小見出しを設けた。
- 九 翻刻者による注は（ ）で示した。
- 一〇 原文の改行は、特に必要と認めた場合以外は追いつみとした。

〔注〕

- (1) 衆議院・参議院編『議院制度百年史 衆議院議員名鑑』一九〇九年、「園山勇文書」（松江市北堀町・園山照子氏所蔵）
- (2) 前掲『議院制度百年史 衆議院議員名鑑』。上野富太郎・野津静一郎編著『松江市誌』松江市、一九四一年
- (3) 前掲『松江市誌』。遠藤永吉編『鳥取島根両県官民肖像録』有終社、一九一二年（国立国会図書館近代デジタルライブラリー）
- (4) 高橋義比は、福岡世徳市長の第二期から第四期まで、松江市議会で三人の市長候補の一人として推薦されていた（竹永三男『初代松江市長福岡世徳

その旅と松江振興策」。高橋義比はまた、憲政会・立憲民政党に身を置く若槻礼次郎の個人後援会・克堂会会長の渡部寛一郎との親交が深い（松江市新雑賀町・原洋二氏所蔵「渡部寛一郎文書」による）。自由党・立憲政友会に一貫して属していた福岡世徳市長と高橋義比助役の関係の分析は、今後の課題である。

(5) 前掲『初代松江市長福岡世徳その旅と松江振興策』

〔付記〕

本稿は、島根大学法文学部山陰研究センターの二〇一三年度山陰研究プロジェクト「近代松江の政治・文化史的研究―福岡世徳文書・渡部寛一郎文書の調査・整理・翻刻・分析を通して―」（課題番号一一〇三、研究代表者・竹永三男）の成果の一部である。

〔史料翻刻〕

福岡世徳公務手帳第十冊

新式	
懐中日記	
縦	10cm
横	16cm
206ページ	

〔附録〕

「祝日大祭諸節一覧表」(略)

(中表紙)

「四十四年新式懐中日記 大倉書店發行」

(附録 一〜十二月「行事」)(略)

「重要記事」(一月〜二月。各月各一ページ。以下、記載事項のみ)

一月一日 元材木火事、市役所楼上新年宴会

(欄外)「十二戸消失」

一月二十日 一戸師團長召集事務検閲

一月二十一日 能義八束松江第二回麴酒母品評會開會式

一月二十三日 麴酒母品評會褒賞授与式 米村足羽引繼

一月二十四日 (朱書)「幸徳傳次郎外十一名死刑執行」

一月二十五日 (朱書)「菅野スガ全上」

二月十一日 貧民施薬医療金百五十万円ヲ賜フノ詔勅アリ

三月十五日 大橋開通式舉行(以下、十二月まで記入なし)

一月一日(日)四方拝 半晴

一午前九時高等小学校ノ式ニ臨ム

一元材木火災十一時鎮火

一十一時半ヨリ新年賀會

一月二日(月)初荷 雪

一終日在宅

一月三日(火)元始祭 半晴

午前午後共二廻礼ヲ為ス

一月四日(水)曇

一午前九時市役所へ出勤用始メ

一真光寺參詣

一月五日(木)新年宴会 雨

一午後一時並河氏ヲ三島旅館ニ訪フ水電ノ件ニ付

一二時松江婦人會ノ新年會ニ臨ム

一月六日(金)雪

一午前九時市役所ニ出勤

一黒澤球次郎へ書状發ス年賀状局戻リノ件ニ付

一午後一時ヨリ市參事會ヲ開ク

一午後五時工業研究會ノ宴會ニ臨ム

一月七日(土)曇

一午前九時和田警察部長ヲ訪ヒ后丸山知事ヲ訪フ病氣ノ為メ面會セス

書面テ用務ヲ達ス

一午後市會議長同代理者撰舉

一午後四時ヨリ公務員新年宴會ニ臨ム

一太田米丸大佐ニ書状ヲ發ス

一月八日(日)陸軍始 雨

一午前九時柳原一心齊訪ハル

一磯部中尉ヨリ興正ノ刀ヲ送ラル

一月九日（月） 晴

一 織原氏ニ水力電気ニ関スル事ヲ談ス

一月十日（火） 雨

一 午前八時半石原氏国俊ノ短刀ヲ携へ来訪

一 九時西光寺三島氏法會ニ付参詣

一 頼杏坪ノ書表装ヲ囑トス

一 瀧川福之助来所ル

廿一日ヨリ廿三日迄開催スル麴、酒母品評會ノ會長ヲ囑托セラル

一 米村ノ事ニ付安井へ書状ヲ發ス

一月十一日（水） 曇り

一 錦織内務部長ヲ訪ヒ伊藤旅團長歓迎會ノ事ヲ協議ス

一 米村信敬氏警告ス

一 中村秀年氏来訪松平家用達所ノ事ニ付注意ス

一月十二日（木） 小雪

一 午前八時半伊藤旅團長ヲ訪ヒ十四日ノ案内ヲ為ス

一 義勇艦隊義金終了本部ヨリ物品ノ寄贈ヲ受ケ取ル挨拶ノ為メ島根支部ヲ訪フ

部ヲ訪フ

一 高橋六三郎へ十五日来レノはがき發

一金沢傳十郎氏ヲ訪ヒ米村ノ事ヲ問フ

一月十三日（金） 小雪

午前九時埋立地ヲ視察ス

一 午後財務調査委員會

一 午後五時商業會議所總會引續新年宴會

一 七時ヨリ米村氏宅刀劍會

一月十四日（土） 小雪

一 午前八時前石黒氏ヲ訪フ出發後ナリ

一 午後石黒大佐へ宛見舞状ヲ發ス

一 磯部中尉へ手簡ヲ送ル

一 山陰新聞ノ野津善之助ト談話ス

一 午後五時ヨリ伊藤旅團長接待會ヲ臨水亭ニ開ク

一月十五日（日） 曇小雪

一 石川忠作氏訪ハル

一 北尾氏へ發信

一 祿太郎へ發信

一月十六日（月） 曇

一 此日參事會開ク

一 夜二入り中村秀年氏松平家用達所ノ事ニ付来訪

一 入浴

一月十七日（火） 半晴時々小雪

一 午前錦織内務部長ヲ訪ヒ朝酌川津ノ埋立地ノ事ヲ頼談ス

一 和田警察部長へ専門医学校ノ事ヲ談ス

一 午後才賀学校体操場建築及灘町後埋立工事視察

一午後五時ヨリ岩田喜一郎ノ招キ応ス  
一山口亮へ発信

都○

一月十八日(水) 半晴

一午前充員召集事務調査  
一午後一時蒸溜ポンプ修繕ニ付試験<sup>ケ</sup>セシ付成績佳良點火後十二分ニシテ吸水ス

一月十九日(木) 雨

一午前十時廿二分一戸師團長ヲ迎フ

一月二十日(金) 晴

一午後一時一戸師團長召集事務檢閲二時過終了  
一四時ヨリ市役所於テ米村信敬氏ト内談ス  
一高橋六三郎ヲ雇ヒ茶ニ施肥ス

一月二十一日(土) 晴

一午前栗原土木課長ヲ訪フ水道ノ件  
一熊谷八東郡長ヲ訪フ  
(市區域擴張ノ件)

一午後二時麴酒母品評會開会式ニ臨ム

一午後三時ヨリ神職會ヲ開ク終テ新年宴会ニ兼テ青戸幡垣両社司ノ祝賀會ヲ開ク

一松平家へ寒中見舞狀ヲ發ス

一月二十二日(日) 曇小雨

一午後一時高等小学校ノ日曜講演會ニ臨ム  
一四時四十六分一戸師團長ヲ送ル  
一夜ニ入り小川善淵氏訪ハル

都○

一月二十三日(月) 雪

一午前九時麴酒母品評會ノ為メ稅務署へ  
一十一時高等女學校敷地ノ件ニ付縣廳へ  
一午後二時品評會褒賞授与式ノ為メ稅務署へ  
一六時ヨリ松崎水亭ニ於テ品評會慰勞會ニ臨ム  
一米村足羽事務引継濟

一月二十四日(火) 曇

一午前九時前桜井氏ヲ訪フ不在  
一十時ヨリ西代喜太郎外七名ヲ訪納稅ノ件  
一三島佐次右衛門氏ヲ銀行ニ訪フ  
一午後五時小川善淵氏ヲ訪フ  
一小池嘉太郎山本銀行へ書狀ヲ發ス

一月二十五日(水) 晴

一午前八時半桜井榮壽郎ヲ訪ヒ地代ヲ問フ  
一午後一時三島佐次右衛門氏訪ハル  
一祿太郎へはがきヲ發ス

一月二十六日（木） 雨

一 午前上田平一氏ヲ訪フ

一 向坂氏ニ板伯銅像寄付金ヲ渡ス

母〇

一月二十七日（金） 曇

一 午前九時収入役推薦ノ為メ市會□□會ヲ開ク

一 十一時向坂代議士ノ出發ヲ送ル

一 午後工學士川北榮夫訪ハル

一 川北氏ヲ一文字屋ニ訪フ

一月二十八日（土） 雨

一 午前九時半並河氏ヲ三島旅館ニ訪フ

一 午後米村信敬ヲ用達所ニ訪フ

一月二十九日（日） 曇

一 午前十二時川北工學士織原萬次郎氏訪ハル

一 午後三時山田義篤訪ハル

一 三時半桜井氏ヲ訪フ又永井氏ノ病ヲ訪フ

都〇

一月三十日（月） 孝明天皇祭 晴

一 午前九時織原氏ヲ訪フ

一 夕本多師範學校長ヲ訪フ

一 不在中綾部氏訪ハル

一 川北氏ヨリ電話ヲ以テ水電ノ談話アリ

一 永井卓一氏訪ハル

一月三十一日（火） 雨

一 各區々會議員撰舉會開會

二月一日（水） 曇

一 明二日午前九時ヨリ母衣尋常小學校視察ノ儀本多師範學校長ヨリ交

渉アリ

一 午前十一時福井稅務署長ヲ訪ヒ土地價格ヲ内議ス

二月二日（木） 半晴

一 午前九時ヨリ本田師範學校長ト共ニ母衣小學校ヲ視察ス

一 午後勢溜ヲ測量ス

一 屋山典獄訪ハル

二月三日（金） 曇雪霜

一 織原氏ノ招ニ臨水亭ニ應ス

二月四日（土） 小雪

一 午前九時犬山福之助へ榮川幅表装ヲ依托ス

一 織原氏ヲ前日ノ禮ノ為メ訪問ス

一 向坂氏ヨリ書狀到達直チニ返書ヲ發ス

二月五日(日) 半晴

一 午前九時地袋戸張替ヲ命ス

一 小貝氏ヲ弔問ス

一 祿太郎へ書状ヲ發ス

一 伊東氏宅刀劍會ニ臨ム

二月六日(月) 半晴

一 松浦氏ヲ弔問ス

一 夜ニ入り屋山典獄訪ハル

二月七日(火) 晴晴

一 午前九時消防組出初式ニ臨ミ十二時ヨリ青場館宴會ニ臨ム

一 三島氏ヲ松江松江銀行ニ訪フ

一 市參會ニ於テ栗原土木技師臨席水亭ノ事ニ決メ

一 午後七時松浦氏ノ葬儀ニ會ス

二月八日(水) 晴

一 午前九時消防組出初式ニ臨ム十二時臨水亭消防組宴會ニ臨ム

都○

二月九日(木) 小雪

一 午前十時ヨリ市役所ニ於テ島根授産會々員募集ノ協議會ヲ開ク

二月十日(金) 晴

一 午前高等女学校敷地ノ件ニ付内務部長ヲ訪フ

一 午後早く城山ヲ視察左ノ事ヲ聞ク

一 蓮花ノ事

一 枯木ト二松亭

一 朝酌村板垣伯銅像寄付十一円〇二錢領収

一 午後四時ヨリ清原氏ノ招ニ應ス

二月十一日(土) 雨

一 午前九時市役所ニ於テ盲啞学校ニ育兒院へ助勢金ヲ交付ス

一 十時ヨリ縣廳ニ於テ村長表彰式ニ臨ム

一 午後一時松江郵便局表彰式ニ臨ム

二月十二日(日) 晴

一 午前十時武德殿祭典臨席

一 午後一時ヨリ武德殿道場始メ

一 午後六時武德殿新築慰勞會

二月十三日(月) 曇 黄昏ヨリ小雨

一 午前岩佐專五郎ト棧橋ノ協議ヲ為ス

一 午後四時ヨリ縣廳ニ於テ島根授産會ノ協議會ヲ開ク

二月十四日(火) 曇

一 園山氏へ板翁銅像寄付金郵便為替發送

一 東京興農園へ梨苗木注文

一 埋立地ヲ視察ス

都○

二月十五日(水) 曇

- 一古志伴藏氏ニ兵宮寄付金ノ事ヲ談ス
- 一桜崎道路改修案ヲ上田氏ニ交付ス

二月十六日(木) 雨

- 一向坂代議士へ鉄道工作場ノ件依頼ノ書状ヲ發ス
- 一八木宅へ納税領収証ヲ發送ス
- 一屋山典獄訪ハル

二月十七日(金) 小雪

- 一高橋助役水源地ニ出張
- 一村上壽夫へ書状ヲ發ス
- 一椿揃ヲ植ウ

二月十八日(土) 小雪

- 一丸山知事へ見舞状ヲ發ス
- 一禄太郎ヨリ書状到来
- 一本多氏刀劍二本持参

二月十九日(日) 小雪

- 一本多氏へ刀劍ヲ返却ス
- 一杏坪幅表装出来
- 一禄太郎へ魏ノ見舞ハガキヲ發ス

二月二十日(月) 晴

- 一頼支峰ノ半折表装ヲ托ス
- 一島根授業会々員募集ノ為メ協議會ヲ開ク
- 一岡政徳氏野口國樹ノ育英會補助ノ件ニ付訪ハル
- 一島根縣授産會ニ入会ス

二月二十一日(火) 晴

- 一中村秀年氏ノ養蚕上ノ注意ヲ聞ク
- 一市役所楼上ニ於テ蚕業講話アリ犬塚技師講話

二月二十二日(水) 曇り

- 一向坂氏へ書状ヲ發ス
- 一水道之儀ニ付岡山秋田両市ニ照會書ヲ發ス
- 一吉岡師範教諭來訪小学訓導ノ事交渉

都○

二月二十三日(木) 曇雨風

- 一午前福岡捨三ヲ訪フ
- 一加納傳青山和両氏ヲ訪ヒ寄付金三円十日迄ニ□□ヲ為ス
- 一禄太郎へ書状ヲ發ス

二月二十四日(金) 曇

- 一森井喜一郎へ照會書ヲ發ス
- 一栗原技師ヲ縣廳ニ訪ヒ棧橋ニ関スル協議ヲ為ス

二月二十五日(土) 半晴

一夜二入り不在中桜井榮壽郎氏訪ハル

二月二十六日(日) 半晴

一法會ヲ執行ス

一佐藤喜八郎氏訪ハル不遇

一梨苗ノ到達ニ付植付ス

一桜井榮壽郎氏訪ハル

都○

二月二十七日(月) 半晴

一上田平一氏来所石橋寄付金(道路)ノ事ヲ談示ス

二月二十八日(火) 晴

一大坂朝日新聞本日限り中止ヲ申込ム

一山陰日日新聞全上

三月一日(水) 曇後雨

一市會開會

一坂田熊三へ書状ヲ發ス

一屋山典獄訪ハル

三月二日(木) 小雪

一向坂氏へ返書ヲ發ス

一三島偏之助神田音七郎へ書状發

一大橋開通賑ノ協議ヲ為ス

三月三日(金) 節旬 曇

一松江銀行へ約束手形支拂延期証ヲ小川善淵ト兩名ニテ差入ル

一森井喜一郎へ書状並小包ヲ發ス

一火葬場建築落成ヲ視察ス

三月四日(土) 晴後雨

一川澄才八氏梨剪定

一小川弘水太田臺之丞屋山典獄訪ハル

一枚苗植付

一門脇秀次郎氏訪ハル

一中村氏宅刀劍會ニ臨ム

(三月四日の記事「二川澄才八氏梨剪定」以下には、五日欄に向けて線が引かれている。三月五日の記事であることを示すものか)

三月五日(日) 雨

一勝部占一郎留守家族へ徴兵関係ノ事ヲ通知ス

一屋山典獄へ刀ヲ返戻ス

一川澄才八氏へ謝礼ス

(三月五日の記事「一勝部占一郎留守家族へ……」以下には、六日欄に向けて線が引かれている。三月六日の記事であることを示すものか)

三月六日(月) 半晴

一三島佐次右衛門氏へ内協儀

十山陰家庭学院へ参拾銭贈与

三月七日（火） 半晴

- 一 三島佐次右衛門氏ト土地買収ノ協議ヲ為ス
- 一 山陰家庭学院へ三十銭贈与

三月八日（水） 晴後曇

- 一 高橋エイ様へ書状發
- 一 禄太郎へ書状發

三月九日（木） 曇

- 一 高等女學校敷地買収協議会ヲ開ク

三月十日（金） 曇後雨

- 一 午前九時ヨリ茶臼山奉天包圍模擬戰觀覽十二時將校集會所ニ於テ宴會一時半役所ニ帰ル
- 一 午後四時ヨリ在郷軍人會紀念宴會ニ臨ム

三月十一日（土） 曇

- 一 小川氏ニ金三円繰替
- 一 上田氏ト女子実業学校ノ件ヲ交渉ス
- 一 午後六時ヨリ中島檢事倉敷判事ノ送別會ニ臨ム
- 一 向坂氏ノ書状入手

三月十二日（日） 晴

- 一 午前八時岩美觀光團ヲ興雲閣ニ迎フ九時過キ帰宅
- 一 田中金之助訪ハル屋敷ノ件ナリ
- 一 花田校長訪ハル左ノ談アリ
- 一 女子実業学校年限ノ事
- 一 母衣小学校教員ノ事
- 一 須永一平氏訪ハル

母〇

三月十三日（月） 雨

- 一 午前岡崎向坂両代議士へ礼状ヲ發ス
- 一 田中金之助ヨリ圖面ヲ受取ル

三月十四日（火） 雨

- 一 午前丸山知事へ挨拶状ヲ發ス
- 一 中島檢事ノ出發ヲ送ル
- 一 在郷軍人會發會式舉行ニ付壱円寄付

三月十五日（水） 半晴

- 一 午前八時大橋開橋式ニ臨ム
- 一 十時ヨリ在郷軍人會發會式ニ臨ム

都〇

三月十六日（木）

- 一 雨 黄昏ヨリ風雨
- 一 田中金之助屋敷ノ件ニ付大芳へ照會

一午後五時天主教會佛人ト山崎ト来訪

島根授産會被保護者ニ説教致度トノ依頼アリ

三月十七日(金) 風雨

一祿太郎へ書状發

一邨上壽夫へ仝上

一電燈會社三株申込

一相模屋へはがきヲ發ス

《一九一一年三月一八日〜三一日東京出張》

三月十八日(土)

午前八時十分發上京ノ途ニ就ク八頭郡智頭柵屋ニ投宿

三月十九日(日)

午前六時智頭發午後八時三十分上郡ヨリ瀛車ニ乗ル

三月二十日(月)

午後二時東京ニ着柳川平助方ニ投ス

三月二十一日(火)

在京

三月二十二日(水)

在京

三月二十三日(木)

在京

三月二十四日(金)

在京

三月二十五日(土)

在京

三月二十六日(日)

在京

三月二十七日(月)

在京

三月二十八日(火)

午前十時三十分東京發歸途ニ就ク

三月二十九日(水)

上郡ニ宿泊ス

都子○

三月三十日(木)

智頭ニ宿泊ス

三月三十一日(金)  
午後四時半帰松

四月一日(土) 半晴

一午前八時高岡知事ヲ訪フ  
一九時市役所ニ出勤ス

△十一日午後九時ノ約

都○

四月二日(日) 晴 夜二入り雨

一錦織幹氏訪ハル  
一午前十時高岡知事ヲ訪ヒ招待ノ案内ヲ為ス  
一夜米邨氏訪ハル

四月三日(月) 神武天皇祭 雨

一午前八時古志原ニ於テ第六中隊ノ出發ヲ送ル  
一四方ニ往キ齒ノ治療ヲ為ス  
一村上壽夫へ書状ヲ發ス

四月四日(火) 晴 午後雨

長藏ヲ雇フ

都○

四月五日(水) 半晴

一午前埋立地視察

一宅ニ於テ刀劔會ヲ開ク

四月六日(木) 晴

一午前向坂岡崎兩代議士ヲ訪ヒ在京中ノ勞ヲ謝ス  
一横井氏ニ面會埋立地ノ件ヲ協議ス  
一高岡知事ニ面會希望ヲ述フ  
一米村ト共城山ヲ視察ス

四月七日(金) 晴

一高等小学校奨学会ニ入会申込ム  
一東洋海上保險会社代理店ノ件ニ付松平直平子ニ書状ヲ出ス  
一午後七時ヨリ高岡知事歡迎會ニ臨ム

四月八日(土) 曇午後四時ヨリ雨

一午前内中原小学ノ額ヲ看ル  
一午後六時ヨリ知事招待ニ応ス  
(朱書)

「一山田郵便局長依頼左ノ如

来ル廿八日興雲閣ヲ借り受け度事  
但椅子五六十脚」

四月九日(日) 雨午後半晴

一午前八時高木金之助氏來訪  
一十時高岡知事ヲ訪問昨夜ノ礼ヲ述ブ  
一小川氏ヲ訪フ

一午後一時川北技師訪ハル

一來海村書記狩野國二郎行政政訴訟ノ件ニ付來ル

都〇

四月十日(月) 雨

一丸山前知事へ見舞状ヲ發ス

一高橋捨藏ニ書状ヲ發ス

一十一時高岡知事ノ出發ヲ送ル

一午後六時ヨリ臨水亭ニ於ケル商業會議所懇親會ニ臨ム

此席ニ於テ織原會頭ニ鉄道開通記念共進會ノ意見ヲ問フ同意ト答フ

四月十一日(火) 雨 午後半晴

一午前九時川北技師ヲ一文字屋ニ訪

一森脇氏ノ依頼ニ依リ安井へ書状ヲ發ス

一午後二時過キヨリ桜崎道路修繕工事ヲ視ル

四月十二日(水) 半晴

一午前

一 禄太郎へ詳細ナル相談ノ書状ヲ發ス

一 勝部授産會長訪ハレ清原氏西原ノ家屋ノ件ニ付交渉アリ

一 來海村長代狩野書記へ訴訟書類ヲ交付ス

一 邨上壽夫氏宅ヲ訪ハレ東洋海上保險代理店ノ事ヲ示サル

四月十三日(木) 晴

一 松江商業會議所特別議員タル事ヲ承諾ス

一入浴ス

四月十四日(金) 晴

一午後五時ヨリ山内氏ノ招キニ應ス

一午後二時ヨリ北堀学校トラホーム講話ニ臨ム

四月十五日(土) 晴

一午前十時ヨリ田原神社ニ幣帛ヲ贈進ス

一午後二時ヨリ松江市教育會惣會ニ臨ム

四月十六日(日) 曇小雨

一菊ヲ移植ス

一竹内武治氏刀劔ヲ携テ訪ル

一石黒大佐訪ハル其二女あさ高等女学校へ入学保証トナル

(上部欄外朱書)

「灸治 十六日ヨリ三日間」

四月十七日(月) 小雨

一午前九時山田郵便局長ヲ訪ヒ渡部七右衛門ヨリ内話ノ件ヲ頼談ス

一午後早々花田校長ト内談ス

一石黒大佐ニ男誠松江中学校入学保証人ト為ル

四月十八日(火) 雨

一所得届ヲ為ス其額左ノ如シ

(朱書)

「一金六百四十一圓六十六錢六厘 七ヶ月分俸給

一金百二円九十一錢六厘 五ヶ月分退隱料

計金七百四拾四円五十八錢貳厘」

一春日下道路修繕ニ付小村桑原両氏出頭兩三日之内実地踏査ヲ約ス

四月十九日(水) 晴 烈風

一岩佐専五郎氏ト棧橋ノ協議ヲ為ス

都〇

四月二十日(木) 半晴烈風

一午前八時半太田雪松氏ヲ岩田支店ニ訪フ

一午後一時並河氏ヲ三島旅館ニ訪フ

一午後二時ヨリ松南教育會總會ニ臨ム

一夜ニ入り小川氏ヲ訪フ

四月二十一日(金) 曇後雨

一祿太郎へ書状ヲ發ス

四月二十二日(土) 晴

一重徳高等小学校古浦運動會ノ為メ午前六時半發ス

一岡部法相来月五日来松六七兩日滞在ノ旨錦織内務部長ヨリ通知ヲ受

ク

一午後二時八束郡農事講習所開所式ニ臨ム

一午後四時興雲閣ノ書画ヲ觀ル

四月二十三日(日) 晴

一午前近藤頓宗ニ書状ヲ發ス

一大谷謙ニ中学入学保証人ト為ル

一入浴ス

四月二十四日(月) 曇 午後ヨリ雨

一午前九時衣川技師ヲ郵便局ニ訪フ

一午後五時西川録三郎氏訪ハル支那ノ墨ヲ贈ラル

一高橋捨藏宛見舞状ヲ發ス

四月二十五日(火) 雨 烈風

一梅かね子へ書状ヲ發ス

一午後四時半ヨリ興雲閣陳列ノ書画ヲ觀ル

四月二十六日(水) 雨 午後晴

一熊谷八束郡長来訪朝酌川津埋立地ノ件協議

一全上ノ件電話ヲ以テ横井氏ニ通報明廿七日午前八時市役所ニ立寄ラ

ル、コトヲ約ス

一午後五時ヨリ西川祿三郎氏ヲ臨水亭ニ招待

四月二十七日(木) 晴

一午前八時横井氏訪ハル

一午前九時ヨリ水道水源地視察ニ時半役所ニ帰ル

四月二十八日(金) 半晴

一 午前鳥取市助役山内虎藏氏役所へ来訪

四月二十九日(土) 半晴

一 午前八時錦織雄氏ヲ三島旅館ニ訪

一 九時岡崎氏ヲ訪ヒ製氷會社ノ事ヲ談ス

一 午後一時並河氏ヲ三島旅館ニ訪フ

一 花田高等校長ニ書籍ヲ返ス

四月三十日(日) 曇 朝少々雨後半晴

一 午前八時田口ヨネ来訪

一 松平直平殿へ東洋海上保險會社ノ事ニ付書状發送

一 長澤甚五郎山田篤藏訪ハル

一 午後磯部中尉興正ノ刀ヲ返ス

一 枚原氏ヲ弔ス

五月一日(月) 晴

一 午前十時ヨリ縣廳ニ於テ司法大臣歡迎協議會ヲ開ク

一 高橋捨藏へ見舞状ニ金壹円ヲ送ル

一 桜崎道路ヲ視察ス

五月二日(火) 晴

一 午前八時門脇重雄氏瓦斯ノ件ニ付来訪

一 原裁判所書記ト興雲閣ニ登リ司法大臣登閣準備ヲ為ス

一 猪俣那賀郡長ニ書状

一 三宅丹野兩氏ニ礼状

一 午前八時ニ田中医師ノ診断ヲ受ク

五月三日(水) 晴

一 午前七時錦織雄太郎氏ノ刀ヲ見ル

一 九時半高岡知事ヲ迎フ

一 午後四時過小川氏ヲ訪フ

一 大野亀氏へはがきヲ發ス

五月四日(木) 雨

一 午前八時四十分高岡知事ヲ訪フ

五月五日(金) 端午節句 雨

一 午後零時四十九分岡部司法大臣ヲ迎フ

一 午後二時司法大臣ヲ訪ヒ書画ヲ觀覽ニ供ス

一 来待村武田来次郎へ書状ヲ發ス

一 午後四時和田佐賀縣事務官ヲ訪フ

一 午後六時ヨリ岡部司法大臣ノ宴会ニ臨ム

都○

五月六日(土) 半晴

一 午前十時ヨリ興雲閣ニ於テ岡部司法大臣ヲ接待ス

一 午後六時ヨリ岡部司法大臣ノ宴会ニ臨ム

都○

五月七日(日) 晴

- 一 午前九時四十五分司法大臣ノ出發ヲ送ル
- 一 十時園山氏ヲ訪フ
- 一 午後四時ヨリ森脇甚右衛門氏ノ招ニ其山莊ニ応ス
- 一 午後三時加田榮太郎氏訪ハル

五月八日(月) 晴

- 一 午前十時廿四分岡部司法大臣ノ通過ヲ迎送ス

五月九日(火) 晴

- 一 人道社へ人道ハ前金切レタレハ送付見合セ呉レ度トノ書面ヲ發ス
- 一 子供博覽會開會中売店許否ノ意見錦織内務郡長へ書面ヲ出ス
- 一 藤坂松太郎氏へ返書ヲ發ス岡本二女ノ件
- 一 太田竹之助ヨリ井戸神社寄金天町分六円送付ニ付伊藤書記ニ渡ス

志○

五月十日(水) 晴

- 一 野津善之助氏へ尊王論ヲ返戻ス
- 一 午後一時ヨリ熊谷八束郡長ト共ニ美保関道路改修線ヲ踏査ス

五月十一日(木) 晴

- 一 祿太郎へ書状ヲ發ス退任後ノ要件

五月十二日(金) 晴

- 一 八木忠氏へ返書ヲ發ス

一 午後四時ヨリ和田潤氏ノ送別會ニ臨ム

五月十三日(土) 雨午後雨歇ム

- 一 祿太郎へ書状ヲ發ス戸籍上ノ件答
- 一 胡瓜苗移植

五月十四日(日) 雨

- 一 午前和田潤氏ノ出發ヲ送ル
- 一 市会ノ委員會ニ臨ム電柱ノ為メ官有地水面使用ノ件
- 一 市役所ニテ弁當ヲ喫ス
- 一 米子觀光團ヲ迎フ
- 一 人道社へ照會書ヲ發ス

五月十五日(月) 晴

- 一 午前九時岡崎氏訪ハル惠愛會ノ事ニテ
- 一 永井氏宅刀劍會ニ臨ム
- 一 祿太郎へ書状ヲ發スおかつ脚氣ト妊娠ノ事ニ付

五月十六日(火) 晴

- 一 午前宮崎警察部長ヲ訪フ
- 一 海軍少佐築土參謀ヲ訪ヒ市統計書並圖面ヲ送ル
- 一 子供博覽會開會式ニ臨ム
- 一 午後五時ヨリ羽二重傳習所役員會ニ臨ム

都○

五月十七日(水) 曇

- 一 午前八時小森氏へ刀ヲ返戻ス
- 一 八時過ヨリ末次埋立地視察
- 一 午後一時八束郡生徒運動會式場ニ臨ム
- 一 四時ヨリ孫尼及井原ヲ携ヘ子供博覽會ヲ觀ル
- 一 夜二入り永井氏訪ハル

五月十八日(木) 曇晴

- 一 午前米村氏へ刀劔鍛冶ノ事ヲ依頼ス
- 一 午後一時ヨリ灘町後埋立地視察
- 一 二時ヨリ羽二重傳習所惣會ニ臨ム
- 一 午後五時ヨリ盡忠院廿五回忌眞光寺ニテ佛事
- 一 夜二入り孫尼ヲ携ヘ城山散步

五月十九日(金) 晴

- 一 午後一時高島平三郎氏ヲ皆美館ニ訪フ

五月二十日(土) 曇 夜二入り雨

- 一 午前七時半 人道社へ雜誌代ヲ送ル
- 一 八時ヨリ小学校聯合運動會ニ臨ム
- 一 石井聯隊區司令官ヲ訪フ
- 一 高島平三郎氏講話會ニ臨ム

五月二十一日(日) 半晴

- 一 午前八時ヨリ徴兵検査ニ臨ム午後七時ニ閉ツ

一 午後七時ヨリ高島平三郎氏ノ招待會ニ臨ム

五月二十二日(月) 半晴

- 一 午前八時ヨリ徴兵検査ニ臨ム午後
  - 一 此日菊花壇へ施肥
  - 一 午後五時皇太子殿下行啓紀念宴會ニ臨ム
  - 一 渡部重太郎二刀ノ研ヲ托ス六月三日限りノ約ナリ
- (欄外朱書)

〔菊花壇施肥〕

〔山陰新聞景品引換券〕

五月二十三日(火) 曇

- 一 徴兵抽籤
- 一 師範學校運動會ニ臨九時半ヨリ十一時マテ
- 一 午後灘町埋立工事視察土木委員會
- 一 夜二入り桜井栄壽郎氏ヲ訪フ

五月二十四日(水) 晴

- 一 午前高島捨藏ヲ訪フ不在
  - 一 丸山重雄ニ悔書状ヲ發ス
  - 一 山陰新聞社景品引換券ノ交付ヲ受ケ新聞代請取書ト同所ニ置ク
- 一〇〇

五月二十五日(木) 晴

- 一 朝茄子苗ヲ移植ス

- 一 午前十時郡市長會議ニ臨ム
- 一 午後六時ヨリ交談會ニ臨ム
- 一 松平直平殿西川録三氏へ書状ヲ發ス

五月二十六日(金) 晴

- 一 午前九時ヨリ郡市長會議ニ臨ム
- 一 午後七時高岡知事ノ招待ニ臨水亭ニ臨ム

五月二十七日(土) 晴 午後雨

- 一 午前九時ヨリ郡市長會議ニ臨ム
- 一 金庫ヲ開收入役身元保証金公債ノ利札ヲ切り之ヲ渡ス
- 一 高橋捨藏へ書状ヲ發ス
- 一 午後六時三島佐次右衛門氏ヨリノ招待ニ臨水亭ニ應ス

五月二十八日(日) 地久節 曇

- 一 午前七時後藤桜井両氏ヲ訪フ
- 一 三島氏ヲ訪ヒ昨日ノ札ヲ述フ
- 一 黒沢球次郎へ小包並書状ヲ發ス
- 一 祿太郎へ書状ヲ發ス
- 一 茄子ニ施肥少分
- 一 午後一時ヨリ神職講話會ニ臨ム

五月二十九日(月) 曇後雨

- 一 午前九時半向坂氏織物工場ヲ視ル
- 一 午後五時博覽會閉場式ニ臨ム

五月三十日(火) 雨

- 一 野津養蚕巡回教師來訪桑葉惣体廿五貫匁位アラント云ヒシ由 母〇

五月三十一日(水) 晴

- 一 午前米村氏ヲ城山ニ訪ヒ市誌編纂ノ事ヲ協議ス
- 一 中谷電氣局長へ水力認可ノ札状ヲ發ス

晴

六月一日(木) 晴 後曇夜小雨

- 一 午前十時栗原技師ヲ縣廳ニ訪ヒ女学校敷地買収ノ事ヲ協議ス
- 一 猪俣那賀郡長訪ハル

都〇

六月二日(金) 曇

- 一 猪俣那賀郡長書状
- 一 伊藤經理部長ヲ訪問ス
- 一 女子技藝学校參觀
- 一 山口久四郎氏訪ハル
- 一 北脇寛造氏訪ハル
- 一 永田桑葉ヲ遣ル五貫五百匁
- 一 入浴
- 一 埋立地視察ヲ為ス

六月三日(土) 雨

一市参事會半数改撰アリ醜態ヲ極ム

六月四日(日) 晴

一永田ニ桑葉ヲ遣ル五貫五百匁

一午後五時ヨリ仁壽生命保險會社ノ招待ニ松崎水亭ニ應ス

六月五日(月) 雨

一午前九時ヨリ山田胤士山口久四郎両氏ヲ訪フ

一永田桑葉ヲ遣ル五貫匁

一直政公御誕辰ニ付城山ニ於テ宴ニ招カル

六月六日(火) 晴

一午前八時大園鐵道院参事ヲ皆美館ニ訪フ

一九時四十五分井川敬徳ノ出發ヲ送ル

一松永平安道長官及本庄太一郎氏へ書状ヲ發ス

一伊東氏宅刀劍會ニ臨ム

六月七日(水) 曇

一午前八時前川北技師訪ハル

一八時廿分高岡知事ヲ訪フ

一佐藤平兵衛へ短刀ヲ返却ス

一祿太郎へ書状ヲ發ス

六月八日(木) 半晴

一午前八時福島捨三ヲ訪フ

一佐川氏へ書状ヲ發ス

一兵營寄付金整理委員會ヲ開ク

六月九日(金) 晴

一高橋六三郎へ十一日来宅ノ書状ヲ發ス

一九時半一戸師團長ヲ皆美館ニ訪フ

一午後零時三十分横井氏ト共ニ馬潟海岸線視察

一近野参謀長ヲ訪フ

六月十日(土) 雨

一安井氏へ兵營寄付ノ件書状ヲ發ス

一栗田廣則へ金拾五円ヲ渡ス

一島田雄俊ツマ氏來訪

水道斎藤久愼

一小川善淵氏ヲ訪フ

一錦織雄太郎氏へ書状ヲ發ス

(欄外朱書)  
「菊第二施肥 島田俊雄」

六月十一日(日) 半晴

一午前八時佐々田氏島田氏ヲ訪ヒ又糸原氏ヲ訪フ

一菊花壇第二施肥

六月十二日(月) 晴

- 一 午前八時 芦原軍医部長並志岐聯隊長ヲ訪フ
- 一 午後一時 島田俊雄氏ニ興雲閣ニ會ス

六月十三日(火) 半晴

- 一 午前七時 鳥取市栗田セシヘ金五円郵便小為替ニテ送發

六月十四日(水) 曇午後五時ヨリ雨

- 一 午後二時 堀姫路市長ヲ訪フ
- 一 二時半ヨリ 堀市長一行ニ城山ニ會談ス
- 一 保田氏ヲ弔ス
- 一 午後七時 一戸師團長ノ招ニ応ス

六月十五日(木) 雨

- 一 午前八時 一戸師團長ヲ訪ヒ前夜ノ礼ヲ述ブ
- 一 午前十一時 姫路市長ノ出發ヲ送ル
- 一 十二時 一戸師團長ノ出發ヲ送ル
- 一 午後八時 保田氏嬢ノ葬儀ニ會ス

六月十六日(金) 雨

- 一 午前八時 和田潤氏ニ葉書ヲ發ス
- 一 九時四十五分 湯淺師範教諭ノ出發ヲ送ル

六月十七日(土) 半晴

- 一 午前八時半 天主教會傳教士山崎恒種ヘ墓地ノ件協議ス

十午後八時過キ於才祿太郎ノ葉書高橋木三郎ハハカキヲ發ス

六月十八日(日) 曇時々雨

- 一 午前十時ヨリ 故田野氏ノ追悼祭ニ臨ム
- 一 午後二時半 園山氏ヲ訪フ
- 一 午後八時過ニ於テ 祿太郎ハハカキ又高橋六三郎ハハカキヲ發ス

六月十九日(月) 雨

- 一 午前高岡知事錦織部長ヲ縣廳ニ訪ヒ物産共進會ノ事ヲ談合ス
- 一 午前六時 園山向坂小川ノ三氏ヲ春陽館ニ訪レ自分引退ノ斡旋ヲ囑ス

六月二十日(火) 半晴

- 一 午前十時 縣廳ニ於テ知事内務部長ト共進會ノ事ヲ協議ス

六月二十一日(水) 曇午後晴

- 一 午前 森脇枚江兩氏ト面會市長重任セストノ事ニ決定
- 一 安井山口亮氏ニ書狀ヲ發ス
- 一 午後三時ヨリ 郵便局ニ於テ元山松江間海底電線ノ技術ヲ見ル
- 一 午後五時 森脇枚江再来市長再任ノ承諾ヲ求メラル

六月二十二日(木) 晴曇

- 一 午前八時 志〇
- 一 土肥鹿足郡長ヘ書狀ヲ發ス
- 一 小川氏訪ハル金四円繰替
- 一 午後四時 故丸山知事追悼祭ニ臨ム

一午後七時ヨリナイト氏ノ招ニ応ス

六月二十三日(金) 晴

一午前九時佐藤喜八郎氏ヲ訪

一午後小川善淵小川弘水両氏ヲ訪フ

比也俱○

廿九日志約

六月二十四日(土) 晴

一午前八時向坂小川両氏ヲ訪ヒ此間ノ勞ヲ謝ス

一錦織山陰日々ヲ呼ヒ市長候補ノ事実ヲ話シ置ク

一中島博士へ書状ヲ發ス

一黒澤球次郎へ歛状ヲ發ス

一村上島司へ書状ヲ發ス

一午後六時ヨリ乾中村両氏慰勞會ニ臨ム

六月二十五日(日) 曇

一午前錦織弘毅米村耕一郎森脇甚右衛門園山勇三氏來訪アリ

一午後三時加田栄太郎氏訪ハル

一午後六時ヨリ元山海底電線開通祝賀宴會ニ臨ム

六月二十六日(月) 曇

一午前八時中村徳之助氏ヲ訪フ

一十時前乾氏ヲ訪フ

一十時ヨリ伊藤少将ノ招ニ応シ古志原ニ往ク

一午後三谷市書記來ル裁判所証人ノ件

六月二十七日(火) 雨

一午前八時伊藤旅團長ヲ訪フ前日ノ礼

一園山勇氏へ書状ヲ發ス一年志願兵ノ件

一東京園藝株式會社へ種子注文島村大根五勺時なし大根一袋聖護院蕪

一袋

一大野亀之丞氏へ發書

一高橋衛生係リへ墓地ノ事ヲ協議ス

六月二十八日(水) 雨 後半晴

一報光社へ名刺百枚ヲ注文ス

一乾中村両氏ノ出發ヲ送ル

一高橋捨藏金老円へ見舞状ヲ發ス

一菊移植但北ノ花壇

六月二十九日(木) 曇

一村上壽夫へ書状ヲ發ス

七月六日ヲ約ス

志○

六月三十日(金) 曇

一午前九時森脇市會議長ヲ訪フ

一中島博士へ書状ヲ發ス

七月一日（土） 雨

- 一 此日職務ニ付随スル総テ之職ヲ辞ス
- 一 午後一時松江図書館ノ記念會ニ臨ム
- 一 午後五時ヨリ旧參事會員懇親會ニ臨ム
- 一 村上壽夫へ書状ヲ發ス

七月二日（日） 曇 後半晴

- 一 午前花田金之助福田修藏門脇秀次郎氏訪ハル
- 一 午後向坂弘松本龔三両氏訪ハル
- 一 山田胤士氏ヲ訪フ
- 一 向坂氏ト共ニ清原管氏ヲ訪フ

七月三日（月） 曇時々小雨<sup>後</sup>大雨

- 一 午前向坂機織場ヲ見ル
- 一 横井弁之助へ育英會入會勸誘書ヲ發ス

七月四日（火） 雨

- 一 午前八時第三銀行支店長ヲ訪兵營借金返済ニ付挨拶
- 一 上野氏ヲ中学校ニ訪フ
- 一 桜崎道路ヲ見ル
- 一 午後四時ヨリ弘道會評議員會ニ臨ム

都〇

一大根種注文種苗株式會社

七月五日（水） 晴

- 一 兵營寄付金協議會ヲ開ク
- 一 夜米村氏宅刀劔會ニ臨ム

七月六日（木） 晴 後曇

- 一 午前岡崎氏ヲ訪ヒ兵營寄付金ノ事ヲ談ス
- 一 正午ヨリ上野野津両先生ヲ臨水亭ニ饗ス
- 一 午後四時武徳會評議員會ニ臨ム

志〇

七月二十日ノ約

七月七日（金） 雨

- 一 午前七時清原管大分ヨリ倉庫會社事件ノ返答アリ
- 一 八時松本龔三氏訪ハル
- 一 午後一時ヨリ市役所ニ出勤市會ニ臨ム
- 一 午後六時ヨリ兵營敷地一件ニ付臨水亭ニ會ス

七月八日（土） 半晴

- 一 午前八時ヨリ森脇佐平持田尾原森脇儀三島山本権七佐藤喜八郎山口卯兵衛金澤傳十郎諸氏ヲ訪フ寄付金ノ承諾ヲ求メ市役所ニ出テ之ヲ報ス
- 一 島根授産會ノ評議員ヲ辞ス

七月九日（日） 四萬六千日 晴

- 一 午前八時清原宗太郎氏ヲ訪ヒ倉庫會社ノ事ヲ協議ス

一 山田胤士へ短刀ヲ返ス  
一 村上氏ヨリ書状到達

七月十日(月) 四萬六千日 晴

一 午前七時高橋六三郎へはかきヲ出ス  
一 午前九時四十五分栗田宅ノ出發ヲ送ル  
一 中村某本庄村同文書院学生  
一 早坂大尉訪ハル  
一 村上氏へ礼状ヲ發ス  
一 午後早坂大尉ヲ訪フ

七月十一日(火) 草市 晴

一 午前七時十五分早坂大尉ノ出發ヲ送ル  
一 市役所ニ出テ諸器具ヲ引上ク  
一 草取老婆ヲ雇フ

七月十二日(水) 曇

一 午前八時三島佐次氏訪ハル  
一 山内氏ヲ三島氏同道ニテ訪フ  
一 邨上氏へ詩ヲ送ル  
一 向坂ノ機織場ヲ視ル  
一 夜ニ入り松本龔三氏ヲ訪フ

七月十三日(木) 孟蘭盆 晴

一 午前七時八木忠氏ヨリ祝電ヲ得

一 七時半小川藏次郎氏ヨリ祝意ノ書簡ヲ得  
一 午前九時ヨリ市役所ニ出勤事務引継ヲ為シ吏員ニ告別ス

都○

七月十四日(金) 曇

一 午前八時ヨリ諸官衙等ヲ訪フ  
一 刀代金三円千酌勝之助氏へ渡ス

七月十五日(土) 藪入 晴

一 午前八時ヨリ諸官衙其他ヲ訪  
一 妻松出發ニ付午後一時三十九分停車場ニ送ル

七月十六日(日) 晴

一 禄太郎へ書状ヲ發ス  
一 石原淳松□佐藤諸氏訪ハル  
一 午後六時岸清一氏ノ宴會ニ松崎水亭ニ臨ム

七月十七日(月) 晴

一 山本権三島佐諸氏ヲ訪フ  
一 小川善淵氏訪ハル

七月十八日(火) 晴

一 宮本隆藏氏母衣町惣代トシテ訪ハル  
一 枚坂正治氏月桂樹ヲ持參セラル

七月十九日（水） 晴

- 一 午前七時半ヨリ小川氏枚坂氏宮本氏ヲ訪フ
- 一 黒井氏ヲ弔ス
- 一 古津元市氏訪ハル
- 一 午後六時市公務員ノ招待會ニ臨ム

七月二十日（木） 晴

- 一 午前八時中溝久之助森協議長市役所曾田泰十郎赤十字愛国婦人會商業會議所ヲ訪フ
- 一 早田氏ヲ弔ス
- 一 金十円島根授産會ニ寄贈
- 一 北島男爵ノ使者来ル
- 一 祿太郎へ書状ヲ發ス

八月二日約

志〇

七月二十一日（金） 晴

- 一 午前七時小川並河島田氏ヲ歴訪ス
- 一 北脇寛造氏訪ハル

七月二十二日（土） 雨前八時ヨリ小雨

- 一 前七時半木村雄蔵ヲ訪ヒ金十円ヲ贈ル
- 一 布施氏ヲ訪フ不在
- 一 椋木熊次郎永見久太郎両氏訪ハル
- 一 勝部横山枚谷市書記訪ハル

一 佛人来ル

- 一 目次女教師訪ハル
- 一 朝日新聞配達ヲ断ル

七月二十三日（日） 晴

- 一 大野亀之丞氏訪ハル
- 一 布施氏ヨリ刀ヲ送ラル
- 一 俵新十郎氏訪ハル

七月二十四日（月） 晴

- 一 午前松江銀行貯蓄銀行山本銀行へ借入金ヲ支拂
- 一 宮崎正興氏へ書状並刀劔ヲ送ル
- 一 祿太郎へ書状ヲ發ス
- 一 松平家並北尾へ暑中見舞ノ状ヲ發ス

七月二十五日（火） 晴

- 一 午後門脇倉松氏訪ハル
- 〔欄外朱書〕
- 一 廿七日ヨリ三日間灸治

七月二十六日（水） 曇

- 一 午前高木謹之助山田錠之助小川蔵次郎諸氏訪ハル
- 一 佐川氏へ書状ヲ發ス

都〇

七月二十七日(木) 小雨 本日ヨリ灸治

一 午前松平家北尾へ見舞暴風書状ヲ小川藏次郎へ礼状ヲ發ス

一 山田鉄之助来訪全氏依頼ニヨリ山口久四郎へ書状發笛木金三郎来訪

一 英一蝶幅ヲ取戻ス

一 横井氏ヲ訪フ

一 中島桐之助訪ハル

一 坂田忠太郎訪ハル

一 兼本春篁夫婦訪ハル

一 午後草光万平氏訪ハル

七月三十一日(月) 曇

一 午前八時草光万平氏ヲ訪フ

一 弁護士登録請求書ノ提出ヲ小川氏ニ托ス

一 花田金之助氏来訪明一日午後六時臨水亭へ案内ヲ受ク

一 夜ニ入り小川氏ヲ訪

一 午後五時兼本氏へ高木依頼ノ件郵便ヲ出ス

七月二十八日(金) 晴

一 午前兼本春篁氏ヲ訪フ

一 午前米村信敬氏来訪

一 午後八時十五分妻松帰宅ス

一 高橋六三郎氏雇フ

一 此日小川善淵氏来訪

八月一日(火) 曇午後大雨

一 午前八時半市役所ニ高橋市長ヲ訪フ

一 佐藤喜八郎氏ヲ訪フ

一 弁護士服ヲ注文ス

一 午後六時ヨリ花田校長外數名ノ招ニ応シ高橋市長ト共ニ臨水亭ニ往ク

七月二十九日(土) 曇 黄昏雨

一 午前市役所ニ於テ弁護士法ニ依ル証明書ヲ受ク

一 松江図書館金五円ヲ寄付ス

一 俵新十郎氏ノ板翁壽像寄付金三円ヲ東京事務所ニ送ル

一 禄太郎へはかきヲ發ス

八月二日(水) 大雨

一 午前安来町【一】音吉刑事ノ件ニ付来ル

一 電話加入申込ム

志〇

八月二十日

東井

七月三十日(日) 曇

一 午前小川宮本両氏ヲ訪フ兼本へ高木ノ依頼ヲ属ス

一 内田検事正ヲ訪フ

八月三日(木) 雨

一 午前八時高橋市長訪ハル

一九時太田雪松氏訪ハル

八月四日(金) 小雨

一午前八時山田藏篤訪ハル

一松江地方裁判所へ弁護願ヲ出ス

一山田鉄之助氏ヲ訪フ

一松江銀行ニテ頭金ヲ受取ル

一石黒大佐訪ハル

一小川氏ヲ訪ヒ【】音吉ノ弁護ヲ依頼ス

一石黒大佐ヲ訪フ

八月五日(土) 半晴時々小雨

一午前山本銀行へ元利金九拾九円八十銭ヲ拂フ

一【】音吉へ十一時前發書

一田中藏次郎氏訪ハル

一小島清兵衛へ急須ノ修繕ヲ頼ム十五六日頃ニ出来ル筈

八月六日(日) 晴

一午前七時半山田胤士へ刀ヲ返ス

一不在中青山久之助山本誠兵衛氏訪ハル

一和泉豊吉へ沙ヲ注文ス

一佐川氏へ書状ヲ發ス詩ヲ送ル

一一番音吉ヲ小川弁護士ニ紹介ス

一園山氏訪ハル

八月七日(月) 曇

一午前五時五十分發三保関ニ至リ横山氏ノ刀劔ヲ見ル

八月八日(火) 晴

一午前森脇甚右衛門西谷金藏両氏訪ハル

一山田鉄之助氏ヲ訪フ

一高橋六三郎へはかき

一早坂大尉へ書状ヲ發ス

八月九日(水) 晴

一午前八時半山田鉄之助氏來訪

一九時高橋一先生死亡ニ付弔問ス

一祿太郎へ重徳ヨリ書状ヲ發ス

八月十日(木) 晴 九十三度

一午前高田茂へ弁護士服代拾五円六十六銭ヲ送ル

一佐野京四郎氏訪ハル

一小川弘水氏へ菓子ヲ送ル

都○

八月十一日(金) 晴 九十四度

一午前松平家ニ見舞状ヲ發ス

一原田和一郎氏訪ハル柳澤里恭筆極彩色画幅ヲ示サル

一瀧川壽一郎氏訪ハル

比○

八月十二日(土) 晴 九十一度五歩  
一 午前真光寺へ墓掃除ニ往ク

八月十三日(日) 晴

一 午前七時邨上氏へ書状ヲ發ス  
一 午後宮崎正興へ鏝ノ事ヲ回答ス  
一 草イチゴヲ移植ス

八月十四日(月) 晴

一 午前七時藤坂氏へ返書ヲ發ス  
一 磯部氏訪ハル

八月十五日(火) 小雨午後強風雨

一 午前六時月照寺へ參詣  
一 午前十一時禄太郎ヨリ電報到達  
一 此日ハ東北風

八月十六日(水) 暴風雨 西風

一 午前十一時前宮崎氏ヨリ返書到達直チニ第二ノ書面ヲ發シ置ク  
一 此日午後三時ヨリ晴  
一 小竹先生書表装ヲ依頼ス  
一 太田氏ヲ商業會議所ニ訪フ  
一 小川氏ヲ訪フ

八月十七日(木) 晴

一 午前横井弁之助尾原亮太郎氏訪ハル  
一 瀧川壽一郎氏訪ハル  
一 禄太郎帰省  
一 午後禄太郎ト共ニ城山ヨリ物産陳列所ヲ見ル  
一 一同上田蕎麦店ニ至ル

八月十八日(金) 晴

一 瀧川壽一郎氏ヲ訪フ  
一 門脇重雄氏訪ハル  
一 山本銀行支店員來訪用向ハ小川氏負債延滞ニ付支拂命令ノ件  
一 午後六時ヨリ禄太郎ヲ岡崎ニ饗ス

八月十九日(土) 曇

一 午前田中助次郎氏ヲ訪フ  
一 商船會社取扱店ニ至ル  
一 午後四時十五分禄太郎見送りノ為メ家族一同杵築ニ往ク同所因幡屋  
ニ宿ス

八月二十日(日) 曇

一 午前九時出雲大社ニ參拜千家北島ヲ訪フ  
一 午後二時海邊辻禄太郎ヲ送り今市四時十五分發ノ瀛車ニテ帰ル  
志〇

更ニ 九月二日

九月六日

八月二十一日（月） 晴

- 一 午前八時向坂氏へ松江銀行負債償却ノ件交渉
- 一 高橋捨次郎ヨリ瓦持参

丸 三十枚

半 六十八枚

- 一 弁護士登録ノ通知ヲ受ク
- 一 サフランヲ植ウ

八月二十二日（火） 晴

- 一 午前小川弁護士會長ヲ訪ヒ入會届ヲ為ス
- 一 両新聞社へ廣告ヲ依頼ス
- 一 佐藤裁判所長及内田検事正ヲ訪フ
- 一 田村啓三ヲ訪フ
- 一 事務所ヲ定メタル旨検事正ニ郵便ヲ以テ届出ツ

八月二十三日（水） 小雨午後大雨

- 一 午前弁護士諸氏ヲ訪フ
- 一 葱ヲ移植ス
- 一 祿太郎下ノ関ヨリノ書状到達

八月二十四日（木） 雨

- 一 祿太郎へ書状ヲ發ス
- 一 山本伊三郎へ書状ヲ發ス
- 一 布施氏ヲ訪ヒ片山一文字刀ヲ買フ
- 一 夜ニ入り向坂氏ト共ニ三島佐次右衛門ヲ訪フ

八月二十五日（金） 半晴

- 一 午前九時玉井大佐ヲ訪ヒ
- 一 三谷勝之助ヲ市役所ニ訪フ
- 一 中村学生来ル
- 一 宮崎正興ニ書状及小包ヲ發ス
- 一 高橋市長訪ハル
- 一 片山一文字刀ノ研ヲ依頼ス九月四日迄ノ約
- 一 遠藤弁護士訪ハル

八月二十六日（土） 半晴

- 一 午前八時布施氏ヲ慰問ス
- 一 井原武三郎へ上海送りノ醬油ヲ注文ス
- 一 坂本昌訓氏訪ハル
- 一 中村富太郎使藤田来ル

都○

八月二十七日（日） 晴

- 一 午前八時小川氏ヲ訪フ
- 一 小川弘水賀山警部佐伯軍医正訪ハル
- 一 山口亮氏へ書状ヲ發ス
- 一 午後五時廿八分發倉吉ニ往ク八時四十一分着停車場前ニテ宿泊宿帳ヲ調査シ要領ヲ得タリ

八月二十八日（月） 晴

- 一 午前七時ヨリ倉吉公園ヲ觀ル

一九時四十分倉吉ヲ發シ午後一時帰宅ス

八月二十九日(火) 晴

一午前八時佐伯軍医正ヲ訪フ

一野々見へ鋸衣<sup>衣</sup>□注文

一松江銀行ヨリ預金ヲ引出ス

一七時山田鉄之助氏訪ハル

八月三十日(水) 晴

一午前十時廿四分佐伯軍医正ヲ送ル

一回漕店ニ荷造ヲ囑トス

八月三十一日(木) 晴ナレトモ多少曇アリ

一午前八時回漕店へ上海行荷物ヲ托ス

一岡政徳氏訪ハル

一夜二入り小川氏ヲ訪問ス

一禄太郎へ書状ヲ發ス

都○

九月一日(金) 晴

一長藏塗地ヲ造ル

一長澤甚五郎へ書面發送ヲ依頼ス

一夜二入り松本宇八郎氏刀ヲ持參サル

都○

九月二日(土) 晴ナレトモ少曇リ

一立原清一郎中村豊秋ニ書状ヲ發ス

九月三日(日) 晴

一午前八時本田常吉氏ヲ皆美館ニ訪フ

一禄太郎ヨリ支那人書到達

一諏訪部彦次郎永田好峰氏來訪

一永田氏ヨリ桑葉代參円七十六錢ヲ受取ル

一山本伊三郎氏へ見舞状ヲ發ス

一景山百太郎氏訪ハル

一頼杏坪表装ヲ注文ス

九月四日(月) 晴

一午前七時半川澄才八氏ノ梨ヲ贈ル

一小川氏ヲ訪フ

一布施氏慰問

一【一】栄助【一】源四郎強盜未遂被告事件弁護人ニ選任通知受ク

九月五日(火) 晴ナレトモ少シク曇

一午前九時裁判所ニ出頭強盜未遂被告事件ノ調書ヲ見ル

一大根蕪等ヲ播種ス

一村上壽夫氏訪ハル

一永井氏宅刀劍會ニ臨ム

十月八六日ノ會

九月六日(水) 晴

- 一 午前八時弁護事件ニ付裁判所出頭
- 一 村上壽夫氏へ書状ヲ發ス
- 一 午後三時ヨリ育英會評議員會ニ臨ム

志〇

九月七日(木) 晴

- 一 午前八時園田大尉へ書簡送付小貝市書記ニ依頼ス
- 一 兼本春篁画師ヲ訪フ

九月八日(金) 雨 昨夜半過ヨリ降此日午前十時頃ヨリ晴模様

- 一 午前七時半高木金之助来ル
- 一 八時半ヨリ裁判言渡ノ為メ裁判所へ出頭
- 一 狩野嘉太郎へ依頼状ヲ發ス
- 一 夜ニ入り小川氏ヲ訪フ

都〇

九月九日(土) 雨 十時頃ヨリ小雨曇

- 一 タカ菜水菜ヲ播種ス

九月十日(日) 曇

- 一 午前七時半高木金氏ト共ニ兼本画師ヲ訪フ
- 一 九時織原清原両氏訪ハル
- 一 午後一時向坂氏訪ヒ同氏ト共ニ清原氏ヲ訪フ

比〇

九月十一日(月) 曇

- 一 午前七時半高木金之助へ書簡ヲ發ス
- 一 三島氏松本氏ヲ訪フ
- 一 織原氏訪ハル
- 一 祿太郎へ書状ヲ發ス

九月十二日(火) 曇

- 一 浅沼隆輔氏訪ハル
- 一 本日ノ山陰新聞ニ石井中佐ハ十五日午後五時廿八分ノ上リ列車ニテ出發境ニテ一泊十六日出帆ノ松江丸ニ乗込ミ赴任トアリ

九月十三日(水) 曇小雨

- 一 午前八時山本文太郎へ弔悔ノ電報ヲ發ス
- 一 小川氏ヲ訪フ不在
- 一 午後四時ヨリ兼本春篁ノ披露會ニ臨ム
- 一 此日松本龔三氏訪ハル向坂氏ヲ訪フ

九月十四日(木) 曇

- 一 午前六時四十分發山本伊三郎ノ葬儀ニ會シ午後五時過歸宅
- 一 向坂氏訪ハル

九月十五日(金) 雨

- 一 午前七時ヨリ石井中佐高津少佐ヲ訪フ
- 一 兼本氏ヲ訪フ
- 一 午後小川氏ヲ訪フ

一 花瓶臺直ヲ小島清兵衛ニ托ス

一 野津喜代太郎氏訪ハル

一 石井中佐ノ出發ヲ送ル

一 秋山幸太郎来ル

一 門脇宇右衛門竹谷行之助来ル

九月十六日(土) 半晴 夜雨

一 午前十時四十六分高津少佐ノ出發ヲ送ル

一 吉岡老人野津喜代太郎両氏訪ハル

一 小川善淵米村信敬訪ハル

一 禄太郎ヨリ書状到達ニ付直チニ返書ヲ發ス

一 安達新市佐田千次郎来ル

九月十七日(日) 半晴 黄昏ヨリ大雨

一 午前伊藤慶之助近藤清流両氏訪ハル

一 吉岡藤次郎来ル

一 三島山内両氏訪ハル

一 向坂氏ヲ訪フ

一 三谷勝之助氏ヨリリンゴヲ贈ラル

○比

九月十八日(月) 雨 時々半晴

一 午前七時半伊藤友太郎方ニ往キ勸業債券ニ枚買入レヲ托シテ金貳拾

円ヲ渡ス

一 午後八時伊藤友太郎ヨリ債券ヲ受取ル

九月十九日(火) 晴

一 午前八時郵便局於テ為替ヲ受取ル

一 十時向坂氏来訪明廿日午前八時半三島氏ヲ松江銀行ニ訪問スル事ヲ約ス

一 野菜施肥

(欄外朱書)

〔施肥〕

九月二十日(水) 半晴

一 午前八時半向坂氏ト共ニ三島山本両氏ヲ松江銀行ニ訪フ

九月二十一日(木) 雨

一 午前真光寺へ墓參ヲ為ス

都○

九月二十二日(金) 半晴

一 午後工業学校ニ往ク

一 小川氏ヲ訪フ

九月二十三日(土) 晴

一 午前八時吉岡藤次郎来ル

一 九時懸物箱ヲ取ニ往ク明晩ヲ約ス

九月二十四日(日) 晴

一 午前四時ヨリ六時迄運動

一 門脇宇右衛門竹谷行之助来ル

一 山崎米四郎研究ノ為来ル

一 向坂氏来臨倉庫會社ノ件廿六日朝向坂氏来ヲ約ス

一 倉庫會社集会廿七日午後四時

九月二十五日（月） 曇 小雨

一 午前八時【一】行之助被告事件公判ニ付松江區裁判所出頭

一 市役所へ納税並法令全書閱覽ノ為メ出頭

一 中村寅松氏来訪ニ付往訪

一 倉庫會社ノ集会ヲ廿八日ニ延ハシタル旨通知ヲ受ク

母〇

九月二十六日（火） 半晴

一 午前向坂氏ト共ニ倉庫會社ノ為メニ松井氏其他ヲ訪フ

九月二十七日（水） 晴

一 午前向坂氏ト共ニ森脇新山内松本鈴木諸氏ヲ訪フ

一 祿太郎へ返金到達報知旁發信

一 高橋洪道来ル

九月二十八日（木） 雨

一 午前八時ヨリ弁護ノ為メ裁判所出頭

一 午後五時ヨリ倉庫會社調停ノ為メ全會社ニ行キ十一時帰宅

九月二十九日（金） 曇 小雨

一 午後七時高橋洪道ノ出發ヲ送ル

一 小川氏兼本氏ヲ訪フ

一 横濱ノ者二人研究ノ為メ来ル

一 午後入江門脇石之助来ル

一 兼本氏来訪高木金之助ノ幅物ヲ渡ス

九月三十日（土） 雨

一 中島桐之助氏訪ハル

一 高橋市長訪ハル

一 高橋藤十郎氏訪ハル

十月一日（日） 晴

一 午前金沢氏ヲ訪ヒ幅物箱書ヲ頼ム

一 午後小川氏ヲ訪フ

都〇

十月二日（月） 晴 午後六時ヨリ雨

一 門脇宇右衛門来ル

一 午後熱田寛三郎来訪小川屋賃ノ件交渉

一 午後六時ヨリ武徳會支部ノ案内ヲ受松崎水亭ノ宴ニ臨ム

十月三日（火） 雨

一 午前八時小川氏ヲ訪ヒ熱田寛三郎ヲ訪フ

一 西尾知ヲ岩田旅館ニ訪フ

一夜二入り孫児ヲ携へ賣豆紀神社へ参詣ス

十月四日(水) 曇

一午前朽木<sup>〔鑑〕</sup>次郎福井傳十郎研究ノ為メ来ル

一午後二時中学校ノ擊劍ヲ觀ル

一夜二入り松本宇八郎氏ノ刀ヲ銀<sup>□</sup>ニ送ル

一小川氏ヲ訪フ

十月五日(木) 曇

一午前十時ヨリ招魂祭ニ臨ム

一村上壽夫氏ヲ訪フ

一本阿弥成善ニ書状ヲ發ス

一高橋六三郎ヲ雇フ

一【一】行之助公判日門脇宇右衛門ニ通知

十月六日(金) 晴

一午前十一時半縣廳土木課ニ出テ訴訟事件ノ相談ヲ受ク

一午後六時小川氏ヲ訪フ

一午後七時ヨリ刀劍會ノ宿ヲ為ス

十月七日(土) 半晴 夜二入り雨

一午前九時小川氏ヲ訪ヒ縣廳土木課ニ出内務部長へ面會

一市役所ニ於テ授業料納付

一夜二入り園山氏來訪

一九時過小川氏ヲ訪フ

十月八日(日) 雨

一午前九時【一】キン事件ニ付小川氏訪問

一午後又小川氏ヲ訪フ

都○

十月九日(月) 雨

一午前十時永井卓一氏ヲ訪フ

一縣廳ニ出頭訴訟事件ニ付談判ス

一夜二入小川氏訪ハル

十月十日(火) 雨

午前一

一本阿弥成善へ刀並研料ヲ送ル

一午後高木金之助訪ハル

一祿太郎へ書状ヲ發ス

十月十一日(水) 半晴

一午前八時【一】行之助公判ノ為メ裁判所

一午後四時小川氏ヲ訪フ

一安達佐太郎へ書状ヲ發ス

十月十二日(木) 半晴

一午前門脇行之助ノ弟來ル

一永井卓一氏訪ハル

一午後太田臺之丞氏ヲ商業會議所ニ訪フ

一都田重太郎刀ヲ持参ス  
一栗田廣則二はがきヲ出ス

△母

十月十三日(金) 曇小雨

一午前八時ヨリ【】事件ニ付裁判所出頭  
一午後揖野卯一郎研究ノ為来ル  
一三島佐次右衛門氏訪ハル  
一夜ニ入り小川氏ヲ訪フ

十月十四日(土) 半晴

一午前揖野卯一郎氏来ル  
一午後安達佐太郎三谷中島小貝三市書記向坂氏来訪  
一宮崎正興へ往復はかきヲ發ス

△母

十月十五日(日) 一晴

一田原神社へ参拝  
一松本龔三氏訪ハル  
一午後高橋市長訪ハル  
一門脇孝一安達佐太郎倅来訪

十月十六日(月) 晴

一午前八時ヨリ【】行之助事件ニ付裁判所  
一小川氏ヲ訪フ

一縣廳ニ出頭土木課員並ニ錦織部長ニ面談  
一【】行之助妻来ル

△母

十月十七日(火) 雨

一午前門脇石太郎来ル  
一向坂氏訪ハル  
一揖野卯一郎氏へ書状ヲ發ス  
一本阿弥成善氏二はがきヲ發ス

十月十八日(水) 半晴

一午前八時門脇弁護士へ電報ヲ發ス  
一市役所ニ出テ三谷助役へ寄贈品ノ札ヲ述フ  
一正午兼本春篁氏訪ハル

△母

十月十九日(木) 晴

一午後十二時半裁判所へ答弁書ヲ提出ス  
一山田鉄之助氏ヲ訪フ  
一小川氏ヲ訪フ

十月二十日(金) 半晴

一午前八時米村氏ヲ訪フ  
一午後一時市役所ニ出テ二時ヨリ小川氏宅集會  
一夜ニ入り小川氏来訪

十月二十一日(土) 快晴

一 午前八時ヨリ裁判所

一 午後兼本俊興氏ヲ訪フ

一 夜二入り【】行之助ヨリ書状到来門脇宇右衛門外一名書状ヲ發ス

十月二十二日(日) 日蝕 晴

一 【】きんヨリはかき到来ニ付小川へ金三円ヲ送り【】ニ其旨通知ス

一 高橋六三郎ヲ雇フ

七時半母△

十月二十三日(月) 晴曇<sup>午</sup>後雨

一 午前揖野卯一郎書状

一 袴洗濯當月中ノ約

志○

五時半母△

十月二十四日(火) 半晴

一 【】栄之助ヨリ弁護依頼ヲ受ク

一 伊東三次郎氏訪ハル

八時 母△

十月二十五日(水) 半晴 夜二入り雨

一 午前八時伊藤猪三谷紹介訴訟事件小川へ話ス

一 布施氏ヲ慰問ス

一 夜二入り米村氏来訪

布施氏来訪

一 【】栄之助俸来訪

一 禄太郎へ書状ヲ發ス

十月二十六日(木) 雨

一 午前西徳市国井新太郎研究ノ為メ来ル

一 高木氏へ頼支峰幅表装ヲ依託ス

七時△母  
都○

十月二十七日(金) 半晴

一 午前八時半山本銀行へ返書

一 渡部金太郎へ兼昌刀研直ヲ命ス

一 午後山本太右衛門川谷常次郎研究

一 向坂氏へ【】行之助ノ書類ヲ交付ス

十月二十八日(土) 晴

一 午前八時ヨリ裁判所

一 午後四時ヨリ松平伯御誕辰ニ付御用達所ニ招カル  
(欄外朱書)

「灸治」

十月二十九日(日) 半晴

一 午前十時ヨリ笛木博氏来リ商法ノ読合ヲ為ス

一午後太田臺之丞氏訪ハル

一夜二入り小川氏訪ハル

一灸治本日ヨリ三日間

十月三十日(月) 晴 夜雨

一午前九時小川氏ヲ訪フ不在

一市役所ニ高橋市長ヲ訪

一島村源太郎へ書面ヲ發ス

一兼本氏ヲ訪フ

一清原益兵衛氏來訪今市詰巡查

一夜二入り小川氏訪ハル

十月三十一日(火) 晴 夜雨

一縣廳土木課へ廣島控訴院判決書ヲ返付ス

一松陽新報社へ配達ヲ断ハル

半晴夜雨

一

十一月一日(水) 雨

一午後一時小川氏ヲ訪フ

十一月二日(木) 半晴 時々小雨

一午前祿太郎へ書状

一井上亮一へ全上

一兼本春篁へ画書ノ儀交渉

一本阿弥成善氏ヨリ刀到達直チニ謝状ヲ發ス

十一月三日(金) 天長節 雨午後半晴

一午前十一時天長節祝賀會ニ臨ム

都〇

十一月四日(土) 晴

一午前八時真光寺參詣

一伊藤重太郎へ塗物注文十日ヲ経テ出来

一兼本ヲ訪フ

一小川氏研究人アリ往ク

十一月五日(日) 晴午後曇リ

一午前濱村氏ヨリ刀ヲ借ル

一夜二入り米村氏ノ刀劍會ニ臨ム

十九日午後二時ヨリ米田屋ニ於テ十年紀念會ヲ開ク事ヲ約ス

十一月六日(月) 雨

一午後濱村氏へ刀ヲ返戻ス

一向坂機業場ニ於テ縞ヲ購買ス

一高橋武二郎氏來訪

十一月七日(火) 雨

一午前向坂氏ヲ訪ヒ縞地代ヲ拂フ

- 一 午後裁判所ニ出テ訴訟書類ヲ閲覽ス
- 一 市役所ニ出テ授業料ヲ納
- 一 高橋市長ト共ニ永田氏菊ヲ觀ル
- 一 夜ニ入小川氏ヲ訪フ

十一月八日(水) 半晴

- 一 書類閲覽ノ為メ裁判所ヘ出頭
- 一 午後五時ヨリ三谷助役ノ案内ニ應シ臨水亭ニ往ク
- 一 高橋六三郎ヲ雇フ

十一月九日(木) 晴

- 一 午前九時松江銀行ニ於テ預金ヲ受取ル
- 一 九時五十分裁判所出頭
- 一 午後恒松氏ヲ訪フ不在

志〇

十一月二十日

十一月十日(金) 曇

- 一 午前九時裁判所判決送達申立
- 一 恒松氏ヲ訪フ
- 一 兼本氏ヲ訪フ
- 一 祿太郎ヘ書状ヲ發祿太郎ヨリノ書状到達ニ付
- 一 田代豊一郎ヘ□英死亡ノ通知書ヲ發ス

十一月十一日(土) 晴

- 一 午後二時ヨリ本年入團入宮新兵送別會ニ臨ム
- 一 午後三時半ヨリ内田檢事正ノ觀菊ノ招待ニ応ス

十一月十二日(日) 大風小雨

- 一 午前十時ヨリ宍道ニ於ケル法曹懇親會ニ臨ム
- 一 午前十時過邸内榎大木倒ル

十一月十三日(月) 半晴

- 一 午前昨日榎倒レタル為メ世話ニ為リタル先々ニ回礼ス
- 一 午後上野野津兩教諭來訪セラル

十一月十四日(火) 晴

- 一 午前八時上田波藏足羽守次郎氏ヲ訪フ
- 一 執達吏ニ裁判言渡書送達ノ事ヲ約ス
- 一 市役所ニ出テ取調ヲ為シ中学校ニ上野氏ヲ訪フ
- 一 保田氏ヨリ刀二本ヲ送ラル
- 一 松崎氏來ル
- 一 大根施肥

十一月十五日(水) 晴

- 一 井原席四郎氏刀劔ヲ携訪ハル
- 一 【一】榮之助ヨリ事件書類ヲ送付ス
- 一 山田鉄之助氏訪ハル入浴ス

十一月十六日（木） 曇 小雨

一 午前向坂氏ヲ訪フ

一 福岡貫造氏ヲ訪フ

一 【一】栄之助へ十八日来ル夜郵書ヲ發ス

一 高橋市長へ福岡氏訪問ヲ通知ス

一 保田氏へ刀ヲ返ス

一 禄太郎ニ羽織ヲ小包ニテ送ル

十一月十七日（金） 雨

一 午後川田久四郎持田新助ヲ訪ヒ見舞ノ礼ヲ為ス

母〇

十一月十八日（土） 曇 小雨

一 午前揖野卯一郎訪ハル

一 午後広澤五藏ノ紹介人来ル

一 向坂弁護士【一】栄之助父子弁護打合ノ為メ訪ハル

一 夜ニ入り小川弁護士訪ハル

十一月十九日（日） 半晴

一 午前八時高木金之助ヲ訪フ

一 九時ヨリ中村原太郎花田金之助保田乙吉氏訪ハル

一 午後二時ヨリ刀劔十年紀年會ニ臨ム

十一月二十日（月） 半晴 夜ニ入り雨

一 午前八時半布施氏ヲ訪フ

一 永井氏ノ刀ノ研ヲ廿五日迄ノ約ニテ重太郎ニ命ス

後約 十二月三日約

志〇

十一月二十一日（火） 半晴

一 午前【一】佐太郎依頼ニ付裁判所ニ出頭

一 午後向坂氏来車へ弁護事件協議

一 夜ニ入り布施氏ヲ訪フ

一 禄太郎ヨリ書状ニ通到達

十一月二十二日（水） 半晴

一 午前郵便局為替引出

一 市役所納税

一 午後枚坂正治ノ招ニ應ス

一 米川多吉氏訪ハル

一 禄太郎へはかき

十一月二十三日（木） 新嘗祭 曇 大風夜雨

一 午前向坂氏宅ニ於テ弁護打合

一 午後布施樫富氏来訪

一 夜伊達伴市外巻名来訪

十一月二十四日（金） 半晴

一 午前九時裁判所へ弁護之為メ出頭ノ処延期

一午後吉野雲平来訪

一【一】栄之助俸来訪

一夜二入り小川弘水氏来訪

一禄太郎二書状ヲ發ス

一佐川環氏へ書状ヲ發ス

十一月二十五日(土) 曇 小雨

一午後向坂小川両氏訪ハル

一午後五時山本誠兵衛氏(マヤ)環曆ノ宴ニ臨ム

都○

十一月二十六日(日) 雨

一午前米川多春来訪

一小川弘水来ル

一賀山警部来訪

一午後向坂【一】父子来訪

十一月二十七日(月) 雨

一午前九時ヨリ午後八時迄裁判所公判

十一月二十八日(火) 半晴

一午前永井卓一氏訪ハル刀ヲ渡ス

一渡部重太郎へ日置光平ノ刀研ヲ命ス十二月十日迄ノ約

十一月二十九日(水) 曇

一午前小川氏ヲ訪フ

十一月三十日(木) 半晴

一午前十時ヨリ裁判所出頭

一午後布施氏訪ハル

十二月一日(金) 晴

一午前田代豊一郎へ書類写取ヲ依頼ス

一渡部巖ヲ訪ヒ評義會欠席ヲ断リ置ク(マヤ)

十二月二日(土) 曇黄昏雨

一午前並河氏ヲ訪フ

一午後米村氏戸田忠幸氏訪ハル

一夜二入り不在中布施氏訪ハル

十二月十二日

志△

十二月三日(日) 曇小雨

一午前八時半布施氏来訪

一向坂氏宅ニ於テ弁護協議

一午後吉本氏来訪ニ付直チニ向坂氏ヲ訪フ

一安部真雄渡部幸松氏来訪

一栗田廣知来ル周藤健之助ノ刀ヲ携テ

十二月四日(月) 半晴

一午前九時ヨリ午後八時裁判所公判

十二月五日(火) 半晴

一午前裁判所へ訴状提出

一山田郵便局長ヲ訪フ

一午後安達英一郎来訪

一森脇甚右衛門氏来訪

一渡部幸松来訪

一來年一月式十三日□永井氏宅刀劔會ニ臨ム

十二月六日(水) 雨曇 小雨

一午後五時羽二重會社ノコトニ付臨水亭ニテ集會ス

一午一

十二月七日(木) 半晴

一午前裁判所へ書面提出

一山本権七氏ヲ松江銀行ニ訪フ

一午後園山氏来訪談話ニ時ヲ移ス

一蜜柑採取

十一月八日(金) 半晴

一午前小川氏ヨリ支峰ノ幅ヲ借ル

一正午北堀ノ麦店ニ至ル

十二月九日(土) 曇り

一布施氏来訪

一小川氏へ支峰ノ幅ヲ返戻ス

一夜高橋六一氏来訪

十二月十日(日) 曇

一午前【】栄之助倅来ル

一午後向坂氏来訪弁護ノ打合ヲ為ス

一茶肥ヲ準備ス

十二月十一日(月) 雨

一午前九時ヨリ午後八時弁護ノ為メ裁判所

十二月十二日(火) 曇寒風

一午前【】倅来訪

一岸本國太郎研究ノ為来ル

一井上忠也大尉訪ハル

一井上大尉ヲ訪フ

十二月十九日

惠〇

十二月十三日(水) 雨

一午前田村豊三直心様御法事香典

一市役所ニテ退隱料受取ル

一電燈会社ニテ株券受領ス

十二月十四日(木) 小雪 寒風

一 午前津田弥太郎ヲ弔ス

一 午後向坂氏ト共ニ小川氏ヲ訪フ

一 緑太郎ニ書状ヲ發ス

十二月十五日(金) 小雪寒風

一 門脇倉松ノ紹介ニ依リ波入村渡部寅一ノ研究ヲ為ス

十二月十六日(土) 小雪 寒風

一 向坂氏ヨリ書簡到来三島氏訪問ヲ十八日夜ニ延期ス

一 渡部寅一書類ヲ持參ス

一 夜ニ入四方文直氏訪ハル

(欄外鉛筆書)

〔電話四七七番〕

十二月十七日(日) 晴

一 午前白川氏ヲ弔ス

一 門脇倉松訪ハル

一 直應様御法會ニ臨ム

一 佐藤喜八郎氏來訪廿五名ヨリ金時計ヲ贈ラル

一 羽二重會社解散ノ總會ニ臨ム

一 電話番号通知ヲ受ク

十二月十八日(月) 快晴

一 午前八時ヨリ紀念品贈与ノ先々ヲ訪ヒ謝礼ヲ述フ

十二月十九日(火) 雨大風

一 午前小川氏ヲ訪ヒ撰舉談ヲ為ス

一 向坂氏來訪

一 午後向坂小川両氏ト共ニ三島氏ヲ銀行ニ訪フ

十二月二十日(水) 半晴寒風

一 午前四十五年ノ年頭はがき印刷ヲ囑托ス

一 名刺ノ印刷ヲ囑托ス

一 真光寺へ參詣ス

十二月二十一日(木) 小雪寒風

一 午前八時八分向坂氏ノ出發ヲ送ル然ルニ氏出發セスニ番ニテ出發ノ

趣依テ電話ニテ出發ノ□ヲ通ス

一 郵便局員

横山正次

山口南耕

両氏訪ハル

志〇

十二月二十二日(金) 曇

一 午前九時ヨリ裁判所

一午後五時ヨリ山本誠兵衛氏ヲ岡坂ニ招ク

十二月二十三日(土) 曇

一午前九時【一】ノ倅来訪

一十時裁判所ニ出頭判決謄本ノ請求書ヲ出ス

一小川氏ヲ訪フ

一【一】ヲ訪フ

一高橋捨藏發

一島田俊雄信

一高橋六三郎ヲ雇フ

十二月二十四日(日) 晴

一清原宗太郎氏訪ハル

一福井傳十郎外一名研究ノ為メ来ル廿六日朝ヲ約ス

一午後小川氏来訪

一梅氏来訪

一高橋六三郎

十二月二十五日(月) 雨

一午前吉本氏ヲ訪フ

一年賀状ヲ發ス

一高橋六三郎雇

一屋山典獄ヲ雇フ

都○

十二月二十六日(火) 曇小雨

一午前福井傳十郎井上鉄道研究

一岸本国太郎全上

一【一】榮之助倅来ル

一吉本氏来訪

一小川氏ヲ訪フ

一禄太郎へ書状ヲ發ス

十二月二十七日(水) 半晴

一佐藤喜八郎氏ヲ訪フ不在

一郵便局ニ於テ為換ヲ受<sub>取ル</sub>

一岸本国太郎来リ裁判所ニ出ツ

一小川氏ヲ訪フ

一午後五時弁護士忘年會ニ臨ム

十二月二十八日(木) 小雪

一岸本国太郎来訪ス

十二月二十九日(金) 雪

一加本氏席徹ヲ携へ来訪

一米村氏来訪セラル

一向坂氏帰松ノ報ニ接ス

志○

十二月三十日(土) 小雪

一 午前向坂氏ヲ訪フ

一 曾田中佐ニ書状ヲ發ス

十二月三十一日(日) 半晴

補遺欄

財務調査委員

神庭(宋書) 三島(宋書) 山本権(宋書)

古志(宋書) 吉本(宋書) 中溝(宋書)

山本豊(抹消宋書) 清原宗(宋書)

森脇新(宋書) □津(宋書)

土木委員

清原管(宋書) 門脇(宋書) 西尾(宋書)

繁澤(抹消宋書) 尾原(抹消宋書) 坂本(宋書)

長谷川(宋書) 永井(宋書) 森脇(宋書) 山内佐(宋書) 田中虎(宋書) 清原(宋書)

臨時建築委員

神庭 森本 山本豊 坂本 三島 佐藤

撰舉有権者数

衆議院

九百五十九人

県会

千三百七十五人

士官候補生

十二名

四十四年徴兵適齡者

二百四十二人 検査参会見込

一八二人

前年仮決 参会見込

百

一六十一人

十六人

猶予

二十人

米村關係渡部巖ヨリ聞取リシ所一月十二日

一大篠津ノ安田喜八郎ヨリ小道具ヲ借りテ帰り其俣之ヲ返サス毎度催

促スルモ応セス喜八郎ハ遂ニ死亡ス

一金沢 西尾 塩津ニ關係アリ

鞭聲肅々夜過河

暁見千兵擁大牙

遺恨十年磨一劍

流星光底逸長蛇

(朱書)

「音楽哀婉雅亮にして

異香みぎりに映芳す」

徴兵検査

五月廿一日

同 廿二日

抽選廿三日

陸軍一等計手

佐々木章

古法帖ノ件

高橋藤十郎氏ノ刀剣

一梵字見刀 京信国ノ末

一刀 宇多物カ

一左ノ短刀 後銘

一無銘短刀 樋ハ後長谷部一派

(朱書)

「昔本ヨリ園山ノ傳言

主女病氣ナ工指腸

虫 鼻 タケ 皮膚病

「神庭ヨリ恒松ノ傳言倅明治大学卒業ノ上採用ノコト」

(朱書)

「吉猶生

明治十五年十二月十五日」

濱田

小林藤一郎

成光

初代 文和 凡ソ五百五十年

二代 應永 凡ソ五百余年

三代 明應 凡ソ四百余年

第三課真の知巴を

悪名を後の世に傳へると思へば云々

右田先生

製水會社

中島 岩佐 清原 米原 清水 監 藤原 小西 出雲 坂

天威ヲ尊威ニ

行啓ヲ觀ニ

斯界ヲ諸人ニ修正

右錦織氏ノ文章

城山惣反別

十六町三反十二歩

興雲閣

桁行十五間三分

梁行七間六分

此建坪百十六坪二合八

高サ石上バヨリ軒桁峙マテ三十尺

工費一万二千七百九十円

一坪百十円

三十六年建築

岡部法相

山青し

若葉乃

うツる

雲の色

定腐

(朱書)

〔福翁尊王論〕

立論ノ三条

第一 経世上ニ尊王ノ要用ハ如何

第二 帝室ノ尊嚴神聖ナル由縁ハ如何

第三 帝室ノ尊嚴神聖ヲ維持スル工夫如何

第一ハ政治論争双方一步モ引ケス時ノ緩和仲裁

第二ハ尚古懐旧

第三 維持ノ第一ハ尚古懐旧ノ人情ニ依頼スルコト第二ノ手信ハ日本

全国ヲ同一視シ裏へ

同帝室論

帝室ハ人身收攬ノ中心ト為リテ国民政治論ノ軌轢ヲ緩和シ陸海軍人

ノ精神ヲ制シテ其向フ所ヲシラシメ、孝子節婦有功者ヲ愛シテ徳風ヲ

篤クシ云々」

四十四年三月末日

一 娼妓二十九名

一 芸妓九十七名

内十名ハ娼妓ナレトモ年齢ノ為メ

一 酌婦六十四名

和田事務官ノ功績

十四年八月本縣へ来任 一 巡査教養方法ノ改善ニ努ム

一 警察官吏ノ風紀改善ニ力ヲ用ヰ

一 警察諸規則ノ制定及改正ヲ為シタルモノ多々アリ 一 衛生事務及病

院ノ擴張ヲ計ル

一 消防制度実習上ノ督励ニ力ム

(朱書)

「世界的研究に基ける日本太古史」

五月廿三日調

養蚕戸数

百十一戸

掃立蝦量

二百十反

(朱書)

「尋常生徒

三千六百十八

高等

三百三十五

經費

一二一、二八六、九〇八

尋常學級

六十六

高等學級

十

經費

四、五四〇、四九八」

(欄外朱書)

○新華族ハ不得策又独り官吏ハ厚キニ不得策マコトナリテ官民ノ別ナク至尊ノ辺ヨリ思徳ヲ施シ包羅收攬シテ日新開明ノ進歩ヲ奨励スル

(朱書)

「納税組合数

片原、北堀、新橋、

石橋、末次、津田街道

南殿町、殿町、京橋、西川端

松江分、

計九組 一一一」

(朱書)

「青年團

十一團體」

子供博覧会二付

火防夫出場費

二十三日九十四錢

水撒費

四円八十錢

井川縣屬見送りノ際中溝氏ヨリ日本生糸ノ話アリ

松陽新報六月七日ノ一欄面米國ト日本ノ生糸ト題スル記事ト反對

土木學務 清原

租税會計 森脇

衛生勸業 山本

勸業衛生 小西

會計土木 佐川

學務租税 永井

(朱書)

「姫路關係

入 索麵 二万箱

出 糠 二万表

山陰線聯絡スレ小姫路トノ關係八十哩近オナル

(朱書)

「博愛丸

七月四日午前十時神戸出帆同門司長崎上海

○山口丸

七月八日午前十時神戸出帆同門司長崎上海

○筑後丸

七月十一日午前十時神戸出帆同門司長崎上海

(朱書)

「島村大根 特選種 十合 十木 鐵

聖護院蕪 特選種 一袋 二鐵

東京本所區向島須崎町

東京園芸株式會社」

産婆規則 明治三十一年七月勅令第三四五号

一〇八番 岡崎別荘

蚜蟲驅除法

石鹼水へ石油乳剂ヲ注ク事

初代松江市長・福岡世徳文書(十・完)(福岡世徳文書研究会)

一 棧橋之事

一 鐵道開通式之事

一 外中原區有貸付金之事

落□西松平様へ山口宗挨拶状ノ事

賀□□

韓非子翼罷

代式円

富士房發兌

宿所姓名欄

岡崎運兵衛

向坂弘

丸山重俊

栗原唯喜様

東洋海上保險株式會社

板翁寿像事務所

高橋捨藏

信太英太郎

和田潤

高田茂

東京芝区浜松町一ノ十五

東京麹町区飯田町六ノ二二

東京府奥多摩郡大久保村字西大久保一九六

下谷上野停車場前名倉屋文店

東京京橋区本湊町三番地

愛宕町一丁目一番地山本幸彦

大阪西区川岸町番外一四

名古屋市中区東古渡町中畑四十九番小松屋方

佐賀市松原官舎

弁古土服 東京麹町区中六番町二十九番地

(以下、「金錢出納録」など附録、省略)

（奥付）

明治四十三年九月二十五日印刷 四十四年新式懷中日記奥付  
明治四十三年十月一日發行 正價金二十三錢

編纂兼 東京日本橋區通一丁目十九番地

發行者 大倉保五郎

印刷者 東京日本橋區通一丁目十九番地

印刷所 村田豊吉

東京日本橋區新榮町五丁目七番地

印刷所 大倉印刷所

東京日本橋區通一丁目十九番地

發行所 大倉書店

電話本局四一四番

振替口座東京二三八番

# Works of Fukuoka Tsukinori (10): the first Mayor of Matsue City

Research Project on Works of Fukuoka Tsukinori

## [Abstract]

Tsukinori Fukuoka(1848-1927)was the first Mayor of Matsue City. He made efforts to promote the development of Matsue during his term of office(1889-1911), and wrote such official affairs in his pocketbooks. This document is one of his pocketbooks, and we can perceive the process of his retirement of Mayor and his practice of a lawyer.

Keywords : Fukuoka Tsukinori, the first Mayor of Matsue City,the retirement of Mayor,  
the practice of a lawyer.